The 37th Tokyo Motor Show
Passenger Cars & Motorcycles

No.15

東京モーターショーニュース

2003年10月25日発行

発行所　社団法人 日本自動車工業会 モーターショー統括部
〒100-0004　東京都千代田区大手町1丁目6番1号 大手町ビル
Publisher : Tokyo Motor Show Department, Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.
Otemachi Bldg., 1-6-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004, JAPAN
TEL 03-3211-8919　FAX 03-3211-5798 WEBSITE www.tokyo-motorshow.com

JAMA

「第37回東京モーターショー」華やかに開幕

開会式、政・官・財界人多数が出席

日本自動車工業会（宗国旨英会長）主催の第37回東京モーターショー（乗用車・二輪車）の開会式が24日午前10時、千葉・幕張メッセの国際会議場2階コンベンションホールで、総裁の寛仁親王、同妃両殿下のご臨席のもと華やかに行われた。

挨拶する宗国会長

会場内をご高覧中の寛仁親王同妃両殿下

この日の開会式には来賓として政・官・財界人、千葉県知事をはじめ業界関係者約800人が出席、加藤和彦理事の開会の辞、君が代吹奏に合わせて国旗掲揚のあと主催者を代表して宗国会長は次のように挨拶した。「今回は、自工会として企画の段階から手がけ、主催する初めての乗用車・二輪車ショーでございます。国際的にも高い評価をいただいている東京モーターショーは自動車業界にとっては最大のイベントであり、この場を通じて環境・安全、そしてグローバリゼーションといった社会的諸問題に対して、業界の取り組む姿勢とメッセージをお届けしたいと思っております」。

「また東京モーターショー50周年の節目にあたり、これまでの“見せるショー”から、“お客様参加型”で“双方向的なコミュニケーション”を強く意識したショーへとモデルチェンジを試みております。会期中、燃料電池車などのクリーンエネルギー車の同乗試乗会など連日多くの特別企画を実施いたします」と、自動車業界の社会的問題に取り組む姿勢や新しい形のモーターショーについて述べた。

次いで中川昭一経済産業大臣（代読・管義偉政務官）、石原伸晃国土交通大臣（代読・佐藤泰三副大臣）、堂本暁子千葉県知事から祝辞が述べられたあと、OICAのジョセフィン・クーパー会長の来賓紹介、小枝至・自工会副会長の開会宣言に続いて寛仁親王妃信子殿下がテープカットされると場内は拍手に包まれ10時35分閉会した。

両殿下はこのあと電気自動車にお乗りになり宗国会長の案内で約1時間半にわたり東・中央・西・イベントホール、北ホールの順でご高覧された。展示車については将来のトレンドが感じられる燃料電池車やコンセプトカーなどに強い関心を示されたほか、カロッツェリア展示では学生たちから全日本学生フォーミュラについての説明を受けられ興味を示されていたご様子だった。また来賓は小枝副会長の案内で、場内を一巡された。

The 37th Tokyo Motor Show Passenger Cars & Motorcycles

クリーンエネルギー車同乗試乗会

話題の車の“実力”を体験

― 試乗希望者で連日の賑わい ―

幕張海浜公園内の環境体験ランドで毎日開催

〔燃料電池自動車〕日産・エクストレイルFCV
環境行動計画「ニッサン・グリーンプログラム2005」に沿った環境対策車で、コンパクトリチウムイオン電池を搭載して年度内に市場投入する。
試乗を終えた川村修さん（神奈川県）「ガソリン使用のエクストレイルに比べて車体が重いとは思うが、加速感は十分」

クリーンエネルギーバスにも試乗
クリーンエネルギーバスの三菱ふそう・ハイブリッド電気バス（MP-HEV）と、トヨタ・日野共同開発の燃料電池バス（FCHV-BUS2）

地球環境保全や大気環境の改善は、いまや最大の課題。こうした環境問題への自動車業界の対応が社会の関心事になっている。東京モーターショー会場でも、環境への取り組みを重要テーマに掲げた各社の意欲的な展示が注目されているが、なかでも、ショーの会期中毎日、幕張海浜公園内の環境体験ランド・特設コースで開催されている『クリーンエネルギー車同乗試乗会』は、自動車業界の環境問題への取り組みのひとつである話題のクリーンエネルギー車の“実力”を実際に体験できるため、試乗会場は早くも多くの来場者で賑わっている。

この同乗試乗会は「参加・体験型モーターショー」の中核的な企画。次世代クリーンエネルギー車の本命といわれる「燃料電池自動車」、すでに低燃費性能を含めて市場で高い評価を得ている「ハイブリッド自動車」、排出ガスのクリーン度に優れる「CNG自動車」など合計12台が用意された。乗用車は幕張海浜公園・環境体験ランドの特設コースでの同乗試乗（助手席およびリア席に乗車）、バスは会場周辺の一般公道を使った試乗が行われている。

試乗希望者はあらかじめ「南休憩ゾーン」の東端(東ホールの南)に設置された「同乗試乗受付」で申し込み・受付を行い、整理券に記載された試乗時間に合わせて、試乗会場に向かう。（6歳未満はバスのみ）

環境体験ランド・特設コースは全長500メートルだが、約200メートルの直線路では、加速性能なども十分体験できる。試乗前に、それぞれの車両説明も行い、車内ではドライバーによる説明にも対応するなど、クリーンエネルギー車に対する理解も深められるよう配慮されている。

なお、試乗時間は午前10時30分～午後4時30分。

（雨天・荒天の場合はスケジュールが変更されることもある）

〔燃料電池自動車〕ダイハツ・ムーヴFCV-K2

軽自動車のFCV。トヨタFCスタックを搭載、ニッケル水素第2次電池を組み合わせている。駆動系にはCVTを採用。
試乗を終えた竹内恵子さん（千葉県）「意外と出足がいいのにびっくり」。

〔燃料電池自動車〕メルセデス・ベンツ・F-Cell

ベンツAクラスをベースにしたコンパクトボディ。最高速度は時速140kmを実現している。
試乗を終えた石橋浩一郎さん（東京都）「思った以上に室内はゆったり」。

〔燃料電池自動車〕ホンダ・FCX

自社開発のウルトラキャパシティ（蓄電システム）を搭載し、専用ボディを採用。昨年末からリース方式で市場に投入している。
試乗を終えた岩村浩さん（神奈川県）「加速はガソリン車よりいい。モーターの音も、未来のクルマはこうなるのだろう、という感じ」。

〔燃料電池自動車〕トヨタ・FCHV

自社開発のトヨタFCスタックを搭載。ニッケル水素電池を搭載しており、昨年末からリース方式で市場に投入。
試乗を終えた竹内孝一郎さん（東京都）「見た目のボディの大きさから想像できないくらいの加速感にはびっくり」。

〔ハイブリッド自動車〕トヨタ・プリウス（福祉仕様含め3台）

今月9月に登場した2代目で、さらに燃費と走行性能を向上させた人気モデル。駐車補助システムの採用などでも注目されている。
試乗を終えた西村正行さん（東京都）「試乗コースではスタートから最後まで、モーター駆動だったが、さすがプリウス」。

〔ハイブリッド自動車〕ホンダ・CIVICハイブリッド

ひと目見ただけではハイブリッド仕様と気づかないが、海外市場でも評価されている。
試乗を終えた後藤敏夫さん（千葉県）「見た目でわからないハイブリッドの良さは体験できた」。

〔CNG自動車〕スバル・レガシィB4 CNG

走行性能に定評のあるレガシィの良さに環境性能とアクティブセーフティ性能を融合させた市販計画モデル。
試乗を終えた木村真一さん（東京都）「LPGを使うタクシーをイメージしていたが、ガソリン車に比べて違和感がなかった」。

燃料電池自動車（Fuel Cell Vehicle）

水の電気分解の逆の原理を利用、水素と酸素を反応させて生じる電気でモーターを駆動して走行する自動車。エンジンを搭載せず、車から排出するのは水だけという究極のクリーンエネルギー自動車。高圧酸素を車両に搭載する方式のほか、既存の化石燃料を改質して水素を取り出す方式などがある。

水素を空気中の酸素と反応させ電気を発生させる部分がFCスタックといわれ、これが燃料電池自動車の“心臓部”といわれる。

ハイブリッド自動車

複数の異なる動力源を同時に、あるいは走行条件などに応じて作動させる。エンジンと電気モーターを組み合わせることで、エンジンからの排出ガス低減効果と省燃費効果がある。

エンジンは発電だけを行うタイプと、エンジンとモーターを動力源に使用するタイプがあり、両タイプを組み合わせたタイプがある。すでに乗用車やバスなどで商品化され、燃費性能の面でも高い評価が浸透している。

CNG（圧縮天然ガス）自動車

ガスを燃料とする自動車で、ガソリンや軽油に比べて有害物質やCO_2の排出量が少なく、黒煙が排出されないことからクリーンエネルギー自動車として普及、トラックなどではすでに実用化されている。

◆ 祝賀レセプション ― 国際交流の場で1000人が祝杯 ―

寛仁親王殿下にご挨拶するジョセフィン・クーパー・OICA会長、中央は鈴木孝男・自工会副会長

ゴマソール駐日英国大使、豊田章一郎・トヨタ自動車名誉会長と宗国会長

第37回東京モーターショーの開会式終了後、12時30分から国際会議場2階のコンベンションホールでは、寛仁親王同妃両殿下ご参加のもと、祝賀レセプションが行われた。東京モーターショーが国際交流の場となって久しいが、駐日英国大使のスティブン・ゴマソール閣下はじめ、堂本暁子千葉県知事ら内外から1000人を超える特別招待客が出席した。宗国旨英会長の挨拶に続いて、小枝至副会長の乾杯の発声で祝宴を開始。2年前の乗用車・二輪車ショーでは、同時多発テロの影響で祝賀レセプションなどの行事が見送られただけに、久しぶりに出会う招待客たちの姿も多く“ナイス・トゥ・ミー・チュー”を連発したり、テーブルを囲んで杯を交わしたり‥‥。会場いっぱいに祝賀ムード溢れるなか、午後2時閉会した。

堂本暁子千葉県知事

TOPICS ベーカー駐日米国大使ご来場

開会式の行われた24日午後、ハワード・H・ベーカーJr.駐日米国大使が来場、北ホールのハーレーダビッドソンのコーナーを視察された後、GMグループ、米国政府部品ブース、フォードグループ、それにクライスラーなどのブースをご覧になられた。国内メーカーでは日産自動車、トヨタ自動車に立ち寄られ、なごやかに懇談された。01年に続き2度目の来場。

今日のイベント（予定）

★ シンポジウム
10:30～16:30 叫べデザイン！吼えろニッポン！
（国際会議場2F・国際会議室）

★ トラフィック戦隊 アンゼンジャーショー
11:00～11:30 フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）
13:00～13:30 フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）
15:00～15:30 フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

★ 千葉県警音楽隊
16:00～16:40 フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

★ クリーンエネルギー車同乗試乗会
10:30～16:30 環境体験ランド（幕張海浜公園）

10月24日の入場者数 **47,000人**

カーディーラーの皆様にも
役立つ情報を取り揃えております。
オンデマンド印刷を営業活動にどう活かすか？ ヒントを掲載しています。
DocuPlaza（ドキュプラザ） http://www.docu-plaza.com/

Color DocuTech 60
機材協力：富士ゼロックス株式会社
用紙協力：富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社
このニュースは「Color DocuTech 60」で、再生コート紙「eCOAT105」に出力しています。
eCOAT105 イーコート
THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX